



安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **警告**...この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**...この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⓪記号は禁止の行為であることを告げるものです。

⓪の中に具体的な禁止内容が描かれています。

(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⓪の中に具体的な指示内容が描かれています。

(左図の場合は、“アースを接続してください”を表します)

警告



- ・アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。



- ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- ・延長コードの使用は避けてください。
- ・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。



- ・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。



- ・本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザーを使用している機器の場合はレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- ・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザーを使用している機器の場合はレーザー光線による被爆の恐れやレーザー光洩れにより失明の恐れがあります。



- ・万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐにメインスイッチ(機種によってはバックアップスイッチを含みます)を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。
- ・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まずメインスイッチ(機種によってはバックアップスイッチを含みます)を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- ・この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

注意



- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。



- ・機械を移動するとき、必ず左右2箇所の移動用取っ手を持ち、キャスターロックを外してから移動してください。取っ手以外の部分に手をかけると指をはさむなど、けがの原因になります。



- ・機械を移動したらキャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。



- ・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- ・狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。



- ・この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

お願い

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。

特に、近くにテレビやラジオがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・テレビやラジオからできるだけ離す
- ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・コンセントを別にする

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置など電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置は、商工業地域で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

目次

安全上のご注意	1
目次	4
1. 各部の名称とはたらき	5
本体裏面	5
本体正面	5
プラズマディスプレイ底面	6
操作パネル	6
ワイヤレスリモコン	7
2. 使用前の準備	8
据付方法	8
電池の入れ方	9
接続方法	10
3. 使用方法	12
電源の入れ方	12
電源の切り方	12
主要な調整項目	13
4. 使用上の注意	14
画面の焼き付きについて	14
タッチパネルのガラスについて	14
プリンタの電源について	14
パソコンの電源について	14
電源タップの電源容量について	14
5. 異常時の処置	15
6. 修理を依頼する前に	16
7. お手入れ	17
外装のお手入れ	17
タッチパネルのガラス	17
内部の掃除	17
8. アフターサービスについて	18
9. 仕様	19
製品仕様	19
設置スペース	20
外形寸法図	20
10. 技術資料	21
各デバイスの接続について	21
プラズマディスプレイの画面調整	32
パワーセーブ機能	41
OUT OF RANGE	42

1 各部の名称とはたらき

本体正面

タッチパネル付き40インチ プラズマディスプレイ

指または付属のペンによるタッチ入力が可能です。

スピーカー

MB1本体の音声入力端子より入力された音声を出力します。

プリンタ収納部

インクジェット等のプリンタが収納できます（VFモデルは収納済）。前面はドアになっています。

ビデオ・DVD等収納部

ビデオ・DVDプレイヤー等の機器が収納できます。前面はドアになっています。

パソコン収納部

ミニタワー型のパソコンが収納できます。両側面はドアになっています。

ワイヤレスリモコン 受光部

ワイヤレスリモコンは、リモコン受光部に正しく向けて操作してください。

電源ランプ

プラズマディスプレイの電源ランプです。

キーボード台

パソコンのキーボードを置きます。

補足

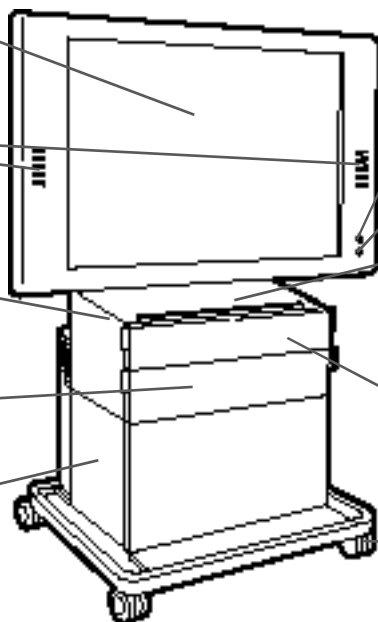
キーボード台を持ち上げると、プリンタのインク交換等が可能です。

ペン収納部

ドアを倒した裏側に付属のペンを収納できます。

ロック付きキャスター

移動時以外は、必ずキャスターをロックしてください。



本体裏面

移動用取っ手

移動の際は、必ず両側に1名ずつ、計2名以上で行ってください。

操作パネル

プラズマディスプレイの各種調整を行います。次ページの「操作パネル」を参照してください。

主電源スイッチ

MB1本体の主電源を入/切します。また電源タップに接続された機器の電源も運動します。

パソコンアクセスドア

パソコンのフロッピーやCD-ROMを使用する際に開きます。

タッチパネル コントローラ

次ページの「プラズマディスプレイ底面」を参照してください。

プラズマディスプレイ コネクタパネル

次ページの「プラズマディスプレイ底面」を参照してください。

ディスプレイ 角度調整レバー

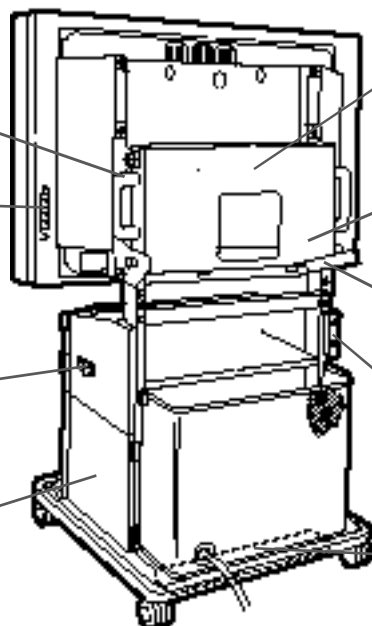
ディスプレイの角度を調整します。

ケーブルガイド

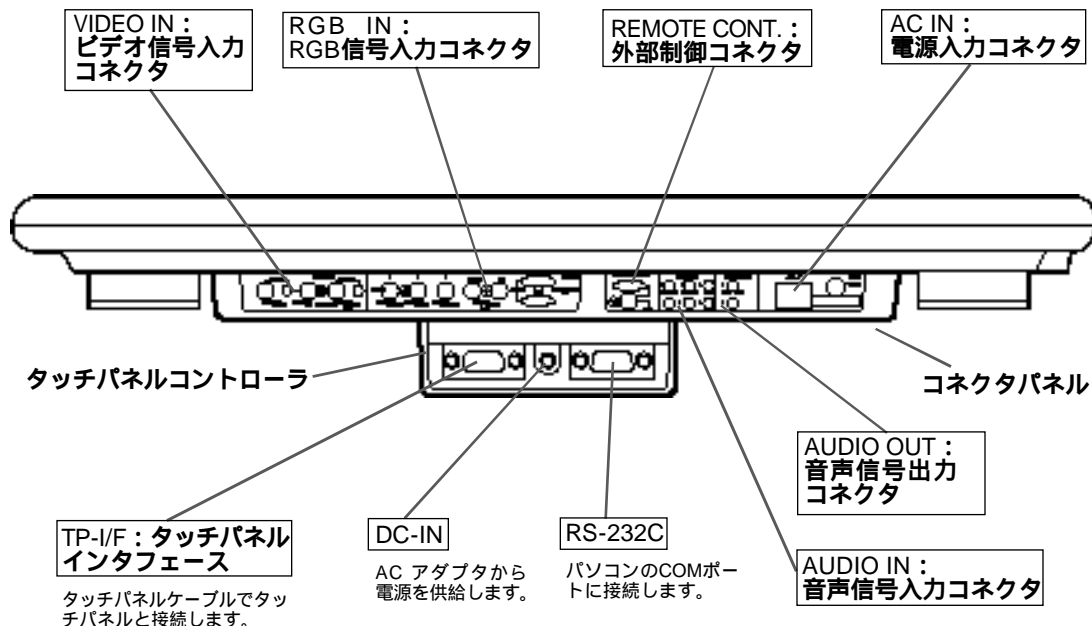
各ケーブルをここに通し、きれいに配線します。

電源タップ

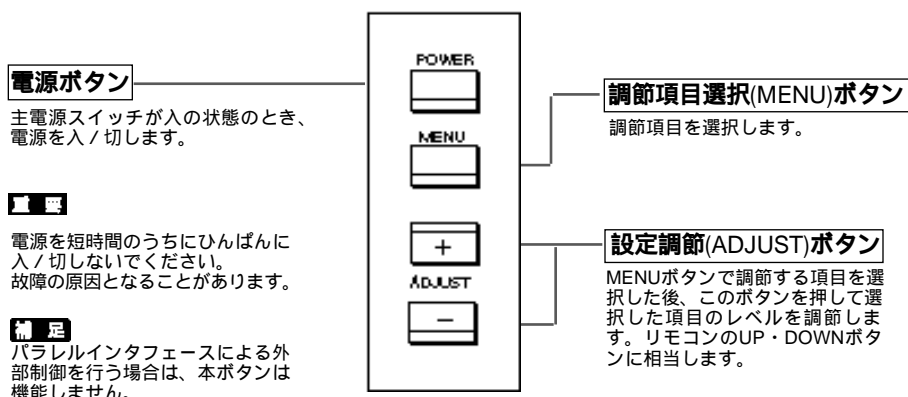
各機器の電源はここから供給されます。



プラズマディスプレイ底面



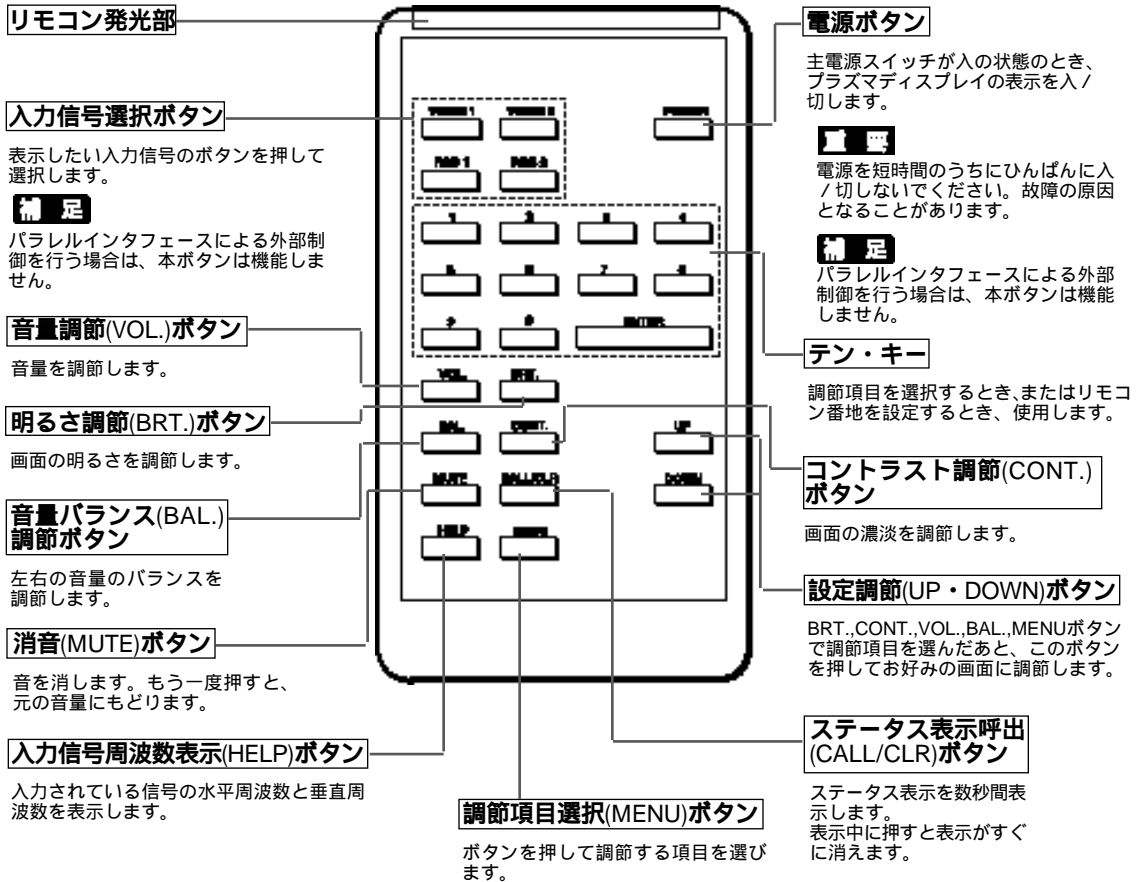
操作パネル



ワイヤレスリモコン



ワイヤレスリモコンは、リモコン発光部を正しくリモコン受光部に向けて操作してください。



2 使用前の準備

据付方法

開梱・設置・組立て

本製品の質量（重量）は、約100kg（パソコン・プリンタを除く）あります。お客様が開梱・設置・組立てを行うと落したり倒れたりしてけがの原因となりますので、開梱・設置・組立ては最寄りの販売店またはサービス実施店へご依頼ください。

⚠注意

開梱・設置・組立ては販売店またはサービス実施店へご依頼ください。

据付場所・運搬

本製品の質量は約100kgあります。落したり、倒れたりしてけがの原因とならない様、次の項目に注意して据付・運搬してください。

⚠警告

傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。

⚠注意

- ・運搬は2人以上で、必ず移動用取っ手を持ち、キャスターロックをはずしてから運搬してください。
- ・据付時、キャスターは必ずロックしてください。

プラズマディスプレイの内部に水分やほこりなどが入ったり、内部の温度が上昇して火災・感電の原因とならないよう、次の項目に注意して据付けてください。

⚠警告

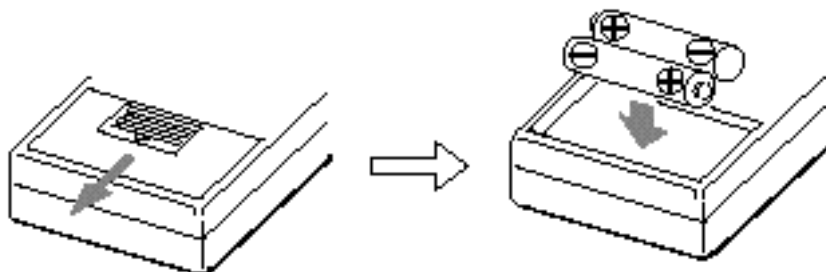
- ・プラズマディスプレイに通風孔をあけています。通風孔をふさがないように据付けてください。
- ・風通しの悪い狭い場所に置かないでください。

⚠注意

- ・湿気やほこりの多い所に置かないでください。
- ・油煙や湯気が当たるようなところに置かないでください。
- ・直射日光が当たる所や熱器具の近くに置かないでください。

電池の入れ方

ワイヤレスリモコン裏の電池カバーを開け、単4形乾電池を2本入れます。



電池カバーを
矢印方向にはずす。

表示にしたがって
電池の⊕ ⊖をまちがえないように
正しく入れ、電池カバーをしめる。

⚠注意

- ・指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・電池をワイヤレスリモコン内に挿入する場合は、プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、ワイヤレスリモコンの表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

接続方法



入力および出力機器を接続する前に、本製品および接続された入力および出力機器の電源を切ってください。

MB1の接続方法（図1参照）

1. プラズマディスプレイの電源ケーブルをMB1の電源タップに接続します。
2. タッチパネルACアダプタ（MB1に添付）を、MB1の電源タップとタッチパネルコントローラに接続します。
3. タッチパネルケーブルをタッチパネルコントローラのTP-I/Fコネクタ（左側）に接続します。

パソコンの接続方法（図1参照）

1. MB1本体のパソコン収納部にパソコンを縦置きします（正面から見てコネクタ側が左にくるとケーブル配線がきれいにできます）。
2. 付属のディスプレイ信号ケーブルを、パソコンのディスプレイコネクタ（D-SUBメス 15ピン）に接続し、もう片側をコネクタパネルのRGB2に接続します。
3. 付属のRS-232Cケーブルを、パソコンのCOM1に接続し、もう片側をタッチパネルコントローラの右側コネクタに接続します。
4. 付属のオーディオケーブルを、パソコンの“AUDIO OUT”（コネクタ：黒）と、MB1の“AUDIO IN:RGB”（コネクタ：赤・白）に接続します。
5. キーボードはMB1のディスプレイの下にあるキーボード台に置きます。
6. パソコンの電源ケーブルをMB1の電源タップに接続します（これによりMB1の主電源に連動します）。

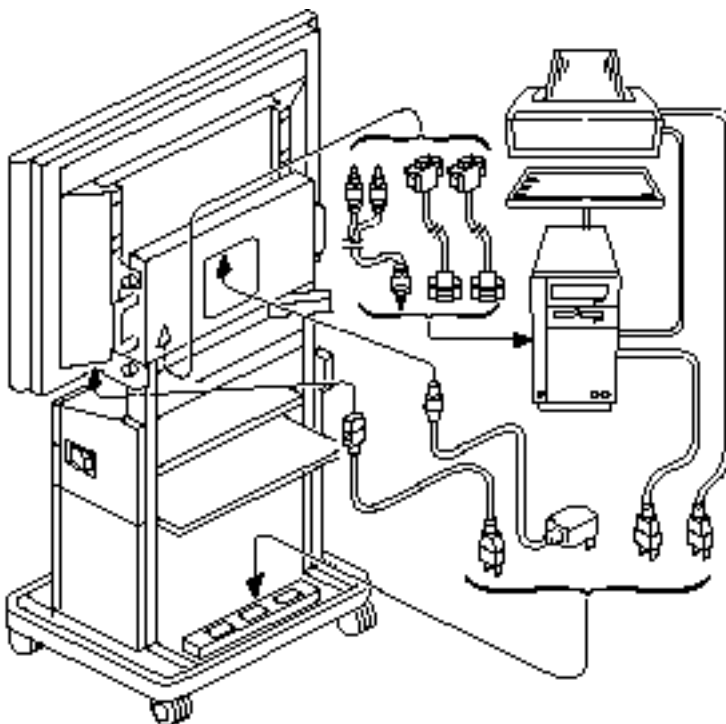


図1 各機器の接続

プリンタの接続方法（図1参照）

1. MB1本体のプリンタ収納部にプリンタを収納します。
2. パソコンとプリンタを接続します（プリンタのマニュアルを参照してください）。
3. プリンタの電源ケーブルをMB1の電源タップに接続します（これによりMB1の主電源に連動します）。

MB1主電源の接続方法（図2参照）

MB1電源タップの電源プラグを、AC100V電源コンセントに接続してください。

⚠ 警告

表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚡ 重要

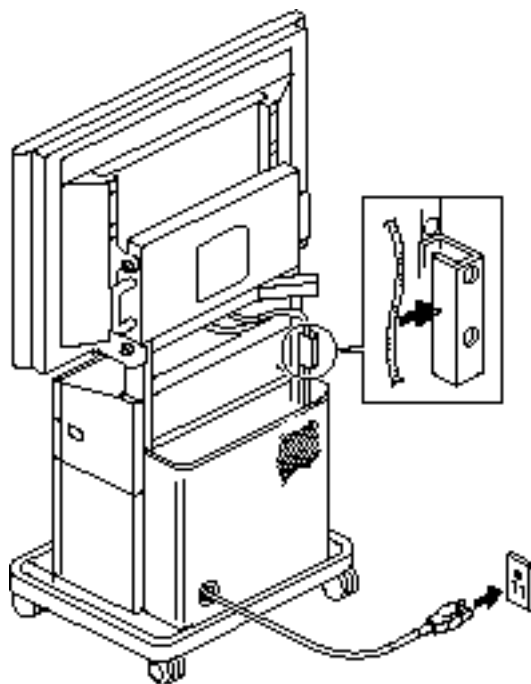
電波障害防止のために電源コードは、接地極付コンセントに接続してください。

ケーブルの配線方法（図2参照）

デバイスおよびMB1のケーブルは、MB1本体裏面右側のケーブルガイドに通すときれいにまとめ、邪魔になりません。

また、パソコン裏カバーにケーブル用の穴が開いていますので、電源タップの電源プラグ、LANケーブル、電話線等を通します。

図2を参考に接続してください。



その他デバイスの接続方法

「10.技術資料 - デバイスの接続方法」をご参考ください。

図2 電源およびケーブルの配線

3 使用方法

電源の入れ方

設置後、初めて電源を入れる場合は、主電源スイッチでは接続された各機器の電源は連動しませんので、主電源スイッチをONにした後、各機器のスイッチをONにしてください。

なお、「電源の切り方」に従って電源を切ることにより、2回目以降の電源ON時には各機器の電源は連動し、ONされます。

電源の切り方

MB1の主電源スイッチにて電源を切ることにより、各機器の電源が連動し、OFFします。

⚠注意

- ・Windowsパソコンが接続されている場合、必ずWindowsの終了を行い、“コンピュータの電源を切る準備ができました”と表示されてから、主電源スイッチを切ってください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。
- ・インクジェットプリンタは印刷完了後、すぐに電源を切ると故障の原因になります。印字ヘッドの動作が終了したことを確認の上、電源を切ってください。

主要な調整項目

プラズマディスプレイの角度調整

プラズマディスプレイの裏面に角度調整レバーがあります。

レバーを左右に動かして0°、または-5°に設定します。

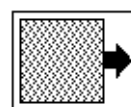
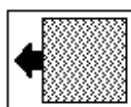
- ・レバーが背面から見て左側にあるとき、画面の傾きは0°
- ・レバーが背面から見て右側にあるとき、画面の傾きは-5°

プラズマディスプレイの画面表示位置調整

画面水平位置調整 (H.POSITION)

RGB1 PRESET 1
H.POSITION -14

MENUボタン⑨を押して"H.POSITION"を選択します。
画面が左に移動します。 | 画面が右に移動します。



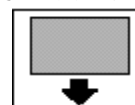
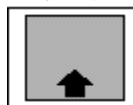
設定値の表示 : MIN, -62, -61, ~ 0~, 61, 62, MAX

画面上下幅調節 (V.HEIGHT)

RGB1 PRESET 1
V.HEIGHT MAX

MENUボタン⑨を押して"V.HEIGHT"を選択します。

画面高さが小さくなります。 | 画面高さが大きくなります。



設定値の表示 : MIN, 1, 2, ~ 61, 62, MAX
(RGB1、RGB2選択時に調節できます)

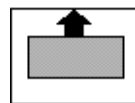
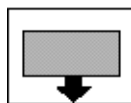
画面垂直位置調節 (V.POSITION)

RGB1 PRESET 1
V.POSITION -4

MENUボタン⑨を押して"V.POSITION"を選択します。

画面が下に移動します。

画面が上に移動します。



設定値の表示 : MIN, -30, ~ 0~, 30, MAX

プラズマディスプレイの周波数調整について

お客様による周波数調整は不要です。

本製品には、RGB1およびRGB2の信号に対する調整値情報を記憶させるためのプリセット機能を備えています。コンピュータを接続すると、自動的に適切な画面を表示します。

電源を入れたときおよび信号切り替え時、現在入力されているモードと番号“PRESET 1~4”または“USER 1~6”と表示します。

4 使用上の注意

画面の焼き付きについて

プラズマディスプレイでは、蛍光体の発光原理を用いていますが、蛍光体はCRTと同様に、使用時間の経過とともに劣化が生じ、輝度が低下していきます。

このため、同じ表示パターンを連続して表示画面の同一部分に表示し続けると、その部分の蛍光体に焼き付きを生じさせる原因になります。長時間同一の絵や文字を表示させないよう、スクリーンセ이버等を起動させ保護対策をしてください。

タッチパネルのガラスについて

ガラスは、強くたたくと割れたりしてけがの原因となることがあります。

ガラスの表面にキズがつくと、タッチパネル故障の原因となることがあります。

ガラス表面に汚れ、異物が付着すると、タッチパネル誤動作の原因となることがあります。

汚れ、異物が付着した場合は、柔らかい布等で拭き取ってご使用ください。

プリンタの電源について

インクジェットプリンタは印刷完了後、すぐに電源を切ると印字ヘッド故障の原因になります。印字ヘッドの動作終了を確認の上、電源を切ってください。

パソコンの電源について

Windowsパソコンが接続されている場合、必ずWindowsの終了を行い、“コンピュータの電源を切る準備ができました”と表示されてから、主電源スイッチを切ってください。

この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。

電源タップの電源容量について

電源タップに接続する機器は、総容量1500W以下でお使いください。

5 異常時の処置

警告

煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなど異常状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。このようなときはすぐに機器本体の主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

6 修理を依頼する前に



警告

修理を依頼する前にお客様で確かめていただきたい内容をまとめています。以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止してください。故障状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店にご連絡ください。

	このようなときは	ここをお調べください	処 置
1	画面に何も映らない！	(1) 主電源スイッチは入っていますか？ (2) 電源ランプが半点灯になっていませんか？ (3) 電源コンセントに、正常に電気が供給されていますか？ (4) 電源コードが正しく接続されていますか？ (5) 電源ランプが点滅していませんか？ (6) 周囲の温度が高すぎませんか？ 本製品の動作温度範囲は0～40℃です。	(1) 主電源スイッチを入れてください。 (2) 操作パネルまたはワイヤレスリモコンの電源ボタンを押してください。 (3) 別の機器で確認してください。 (4) 電源コードを正しく接続してください。パワーセーブ状態です。 (5) 3項の処置を行ってください。 (6) 周囲温度を動作温度範囲内に設定し、30分以上セットを放置冷却した後、電源を入れなおしてください。
2	OUT OF RANGE のOSDが表示される！	(1) コンピューターの出力信号が本製品の仕様に合っていますか？本製品は次の入力信号に対応可能です。 水平走査周波数 15.5～50kHz 垂直走査周波数 50～75Hz	(1) 本製品の仕様にあった信号を入力してください。
3	NO SYNCまたは NO SYNC Hまたは NO SYNC Vまたは NO SYNC HVまたは POWER SAVE のOSDが表示される！	(1) RGB入力コネクターおよびビデオ信号入力コネクターに信号ケーブルが正しく接続されていますか？ (2) 接続されている機器が正しく動作していますか？ (3) 適正な信号ケーブルが接続されていますか？ (4) 接続されている入力信号を正しく選択していますか？	(1) RGB入力コネクターおよびビデオ信号入力コネクターに信号ケーブルを正しく接続してください。 (2) 接続されている機器を正しく動作させてください。 (3) 適正な信号ケーブルを接続してください。 (4) 接続されている入力信号を選択してください。
4	表示色がおかしい！	(1) 色温度・赤、緑、青の調節を行っていませんか？	(1) 色温度・赤、緑、青を再調節してください。
5	ワイヤレスリモコンが 操作できない！	(1) 電池が正しくセットされていますか？ (2) 電池が消耗していませんか？ (3) 本製品のリモコン受光部にリモコン発光部を正しく向けていますか？ (4) ワイヤレスリモコンで番地を設定していませんか？	(1) 電池を正しくセットしてください。 (2) 新しい電池と交換してください。 (3) 本製品のリモコン受光部にリモコン発光部を正しく向けて操作してください。 (4) ワイヤレスリモコンの設定された番地を入力するか、解除してください。

補 足

- ・NTSC信号入力時に上下方向のフリッカーが目立つことがありますが、信号処理方式によるもので、故障ではありませんのでそのままご使用ください。
- ・NTSC信号入力時に有効表示データが480本に満たない場合、画面上端または下端にノイズ状のラインが表示されることがありますが、画面垂直位置調節(V=POSITION)機能で調節してください。
- ・640x480の画素数を超える入力信号に対しては、元信号を640x480の解像度に圧縮して簡易再生します。その際、ちらつきが見られることがありますが、信号処理方式によるもので故障ではありませんのでそのままご使用ください。
- ・本製品のサンプリングクロック周波数は最大40MHzです。そのため、入力信号によっては画面の周辺部にブランク表示部分が出る場合があります。

7 お手入れ

外装のお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。

柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

タッチパネルのガラス

タッチパネルのガラス表面には指紋やほこりがつくので、時々柔らかい布で拭いてください。

表面には傷をつけぬよう、硬いものでこすったり、叩いたりしないでください。

内部の掃除

タッチパネル付プラズマディスプレイ内部の掃除はサービス実施店にご相談ください。

掃除は火災・故障を防ぎます。特に梅雨期の前に行うのが効果的です。

内部掃除費用についてはサービス実施店にご依頼ください。

8 アフターサービスについて

保証書は、必ず『販売店・サービス実施店』など所定事項の記入をお確かめになり、保証書記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。無償保証期間は、納入日から1年間です。

操作方法や機械のトラブルのお問い合わせ、または、消耗品などのご注文や、機械の移転などのご用命は、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

日本国外へ移動したときは、保守サービスは負いかねますので、ご了承ください。

保証期間終了後の修理については、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

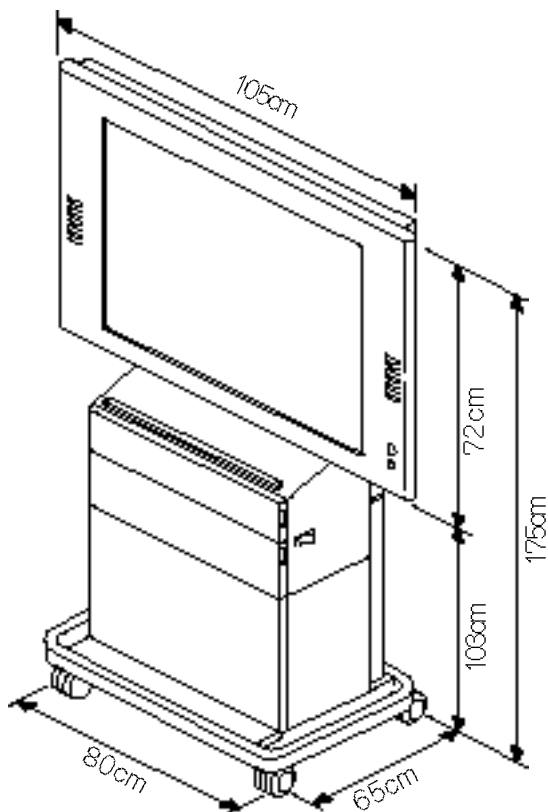
9 仕様

製品仕様

商品名		MB1-40VF (パソコン・プリンタ付き)	MB1-40VS (パソコン・プリンタなし)
表示装置	方式	プラズマディスプレイ (AC方式)	
	有効表示サイズ	対角:100cm (40インチ)	
	アスペクト比	4:3	
	表示画素数	640×480ドット (VGA)	
	表示色数	16,777,216色	
映像入力信号	映像信号	アナログRGB:0.7Vp-p	
	入力コネクタ	アナログRGB、同期信号:BNC,mini-D-sub15P コンポジットビデオ:BNC,RCA-pin type S-VHS:mini-DIN-4P	
音声	入力	RGB 1/2、ビデオ1/S-VHS、ビデオ2	
	出力	内部スピーカー:3W+3W /ラインアウト:L+R	
タッチ入力装置	方式	超音波表面弾性波タッチパネル方式	
	入力方法	指または付属のペン	
パソコン		PC/AT互換機	なし
プリンタ		カラーインクジェット方式、原稿サイズ:A4	なし
主なバンドルソフト		Microsoft Windows95/Office97 MBソフトウェア MonitorMouse	MBソフトウェア、 MonitorMouse
全般	外形寸法	W:1050mm D:650mm H:1750mm (キャスト付)	
	温湿度条件	温度10～30 湿度15～80% (但し結露しないこと)	
	電源電圧	100V (50/60Hz)	
	消費電力	約640W	約425W
	質量	約120kg	約100kg
主な付属品		タッチパネル用ペン (1本)、ワイヤレスリモコン、保証書、 各種マニュアル、ACアダプタ (タッチパネルコントローラ用)、 各種ケーブル (ディスプレイ信号ケーブル、RS-232Cケーブル、 プラズマディスプレイ用電源ケーブル、オーディオケーブル) *MB1-40VFのみ: マウス、キーボード、Ethernetカード、 56Kモデム、増設メモリ、各種ケーブル (プリンタケーブル、パソコン 用電源ケーブル)	
保証期間		1年間無償オンサイト保証	

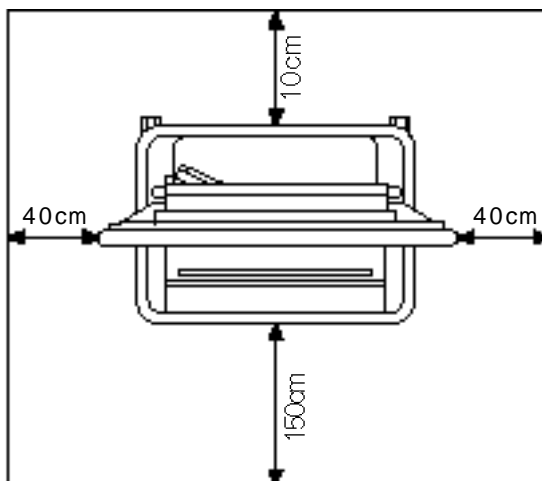
この仕様に掲載されている商品名、会社名は各社の商標および登録商標です。

外形寸法図



設置スペース

本製品の周囲には十分なスペースを設けてください。
操作時やカスタマーエンジニアの作業時などに必要です。



各デバイスの接続について

1. 入力および出力信号の接続

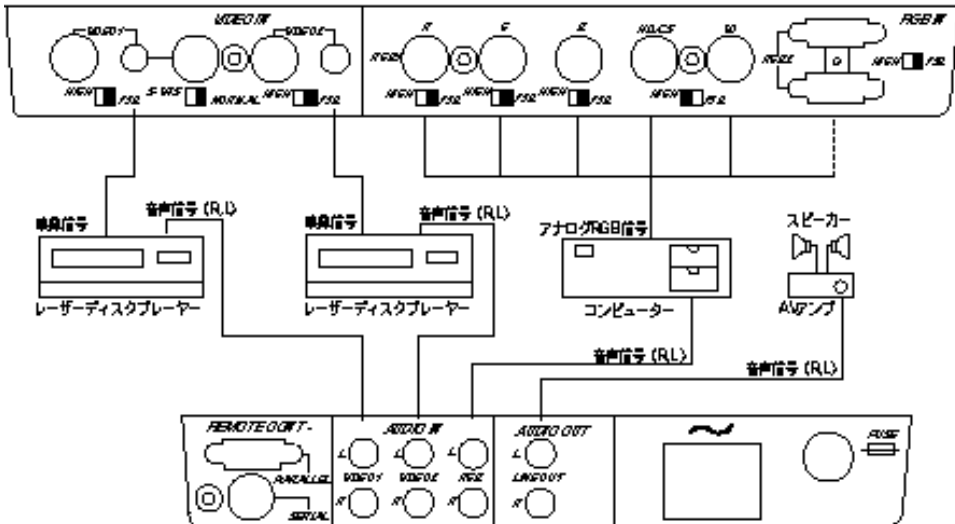
下表に示す各種入力および出力信号が接続可能です。

入力信号	映像信号	同期信号	接続機器例
VIDEO1 VIDEO2	NTSC方式複合映像信号 S-VHS標準信号(VIDEO1のみ)		レーザーディスクプレーヤー TVチューナー
RGB1 RGB2	アナログRGB信号 0.7Vp-p	複合同期信号	TTL アナログ RGB方式カメラ
		セパレート 同期信号	TTL アナログ IBM PS/V または VGAコンパチブルコンピューター NEC PC-9800シリーズ
出力信号	定 格	接続機器例	
AUDIO OUT	ラインアウト	オーディオアンプ	

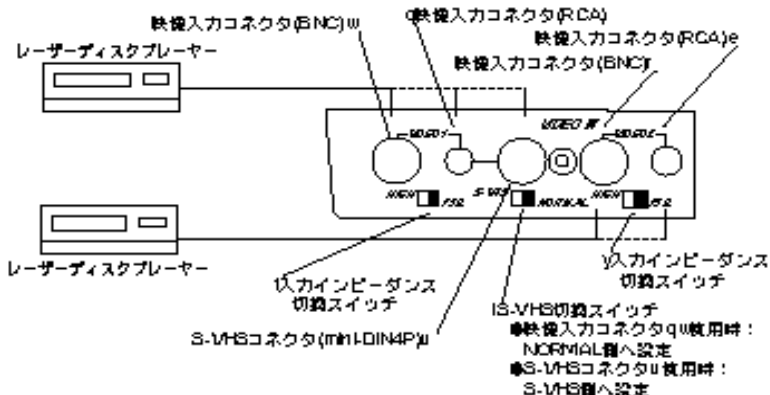
重要

- ・ VTR信号を入力する場合にはテープの伸縮により画質が劣化する場合がありますのでTBC (Time Base Corrector)等のご使用を推奨いたします。
- ・ 複合同期信号は垂直同期信号期間にも水平同期信号のある信号をご使用ください。

各種入力および出力信号の接続例



2. ビデオ機器の接続方法



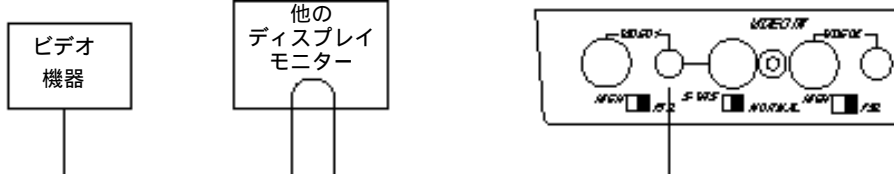
- (1) 映像入力コネクタ①～④および入力インピーダンス切換スイッチ⑤⑥
 映像入力コネクタ①～④にはレーザーディスクプレーヤー等のビデオ機器を接続します。①または②、③または④のどちらかのコネクタに接続します。
 なお、コネクタ①またはコネクタ②を使用する場合は、S-VHS切換スイッチ⑧をNORMAL側に設定します。
 また、入力インピーダンス切替スイッチ⑤⑥は、下表のように設定します。

信号	接続コネクタ	切替スイッチ⑤⑥⑧設定	
		接続例1	接続例2
映像信号	VIDEO1①,②	⑤を75側 ⑧をNORMAL側	⑤をHIGH側 ⑧をNORMAL側
	VIDEO2③,④	⑥を75側	⑥をHIGH側

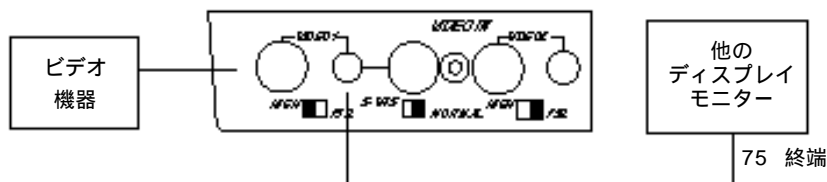
補足

コネクタ①とコネクタ②、コネクタ③とコネクタ④は内部で並列接続しています。

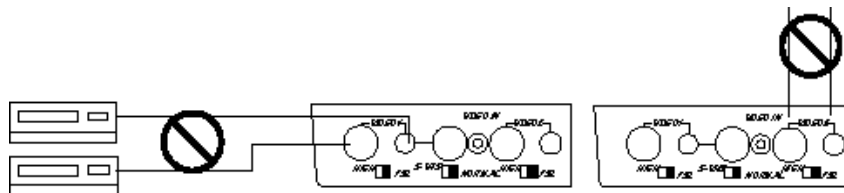
接続例1 本製品単体で使用する場合や他のディスプレイモニターと直列に接続して本製品が終端となる場合



接続例2 他のディスプレイモニターへ分配出力する場合



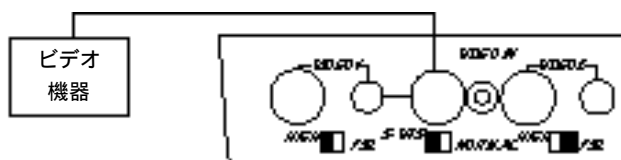
コネクタ①②またはコネクタ③④へビデオ機器を同時に接続しないでください。
正しく動作しなくなるだけでなく、ビデオ機器の故障の原因となることがあります。



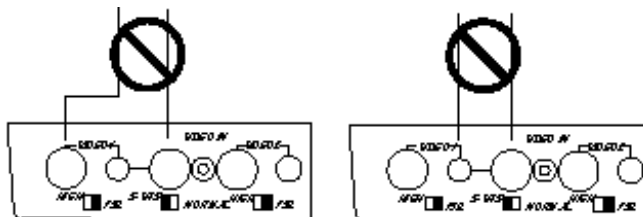
他のディスプレイモニターと接続する場合は、接続する機器に添付の取扱説明書をよくお読みください。

(2) S-VHSコネクタ⑦

VIDEO1のS-VHSコネクタ⑦にS-VHS信号出力可能なビデオ機器を接続し、S-VHS切換スイッチ⑧をS-VHS側に設定します。



コネクタ①⑦またはコネクタ②⑦へビデオ機器を同時に接続しないでください。
正しく動作しなくなるだけでなく、ビデオ機器の故障の原因となることがあります。



(3) 音声信号の接続

ビデオ機器等の音声信号を接続する場合は、そのビデオ機器の映像出力信号を接続した本製品の映像入力コネクタと同一名称の音声信号入力コネクタ(AUDIO INの"VIDEO1"または"VIDEO2")に接続します。

3. コンピューターの接続方法

コンピューターの出力信号は、機器により出力方式が異なりますので、接続する機器に添付の取扱説明書等で次の項目を十分確認したうえ接続してください。

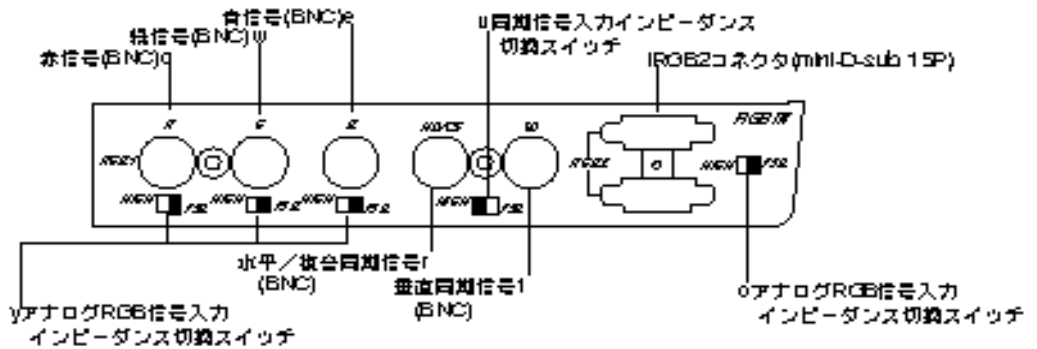
- ・映像信号方式 アナログRGB信号
- ・同期信号方式 複合同期信号、セパレート同期信号
- ・水平走査周波数 15.5～50kHzまで接続可能
- ・垂直走査周波数 50～75Hzまで接続可能
- ・信号コネクタのピン配列



- ・電波障害防止のために付属の信号ケーブルをご使用ください。
- ・複合同期信号は垂直同期信号期間にも水平同期信号のある信号をご使用ください。

(1) 映像信号および同期信号の接続

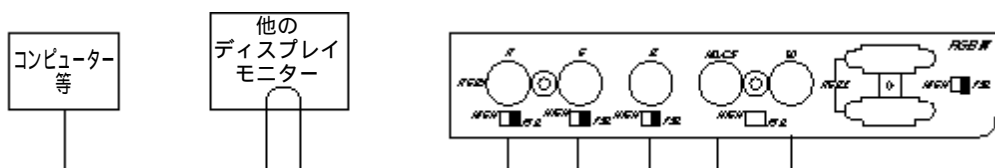
信号およびコネクタの種類によりRGB1またはRGB2に接続します。



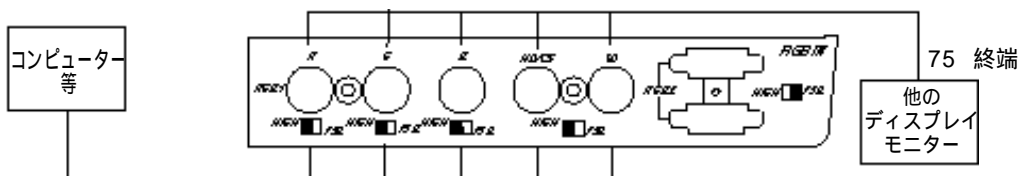
RGB1入力コネクタ①～⑤および入力インピーダンス切換スイッチ⑥⑦映像信号と同期信号を接続し、入力インピーダンス切換スイッチ⑥⑦を下表により設定します。

信号		接続コネクタ ①～⑤		入力インピーダンス切換スイッチ ⑥⑦ 設定		
				接続例 1	接続例 2	
映像信号	赤色信号	R ①		⑥ を75 側	⑥ をHIGH側	
	緑色信号	G ②				
	青色信号	B ③				
同期信号	複合同期信号	TTL	HD/CS ④	⑦ をHIGH側		
		アナログ	HD/CS ④	⑦ を75 側	⑦ をHIGH側	
	セパレート同期信号	TTL	水平	HD/CS ④	⑦ をHIGH側	
			垂直	VD ⑤		
		アナログ	水平	HD/CS ④	⑦ を75 側	⑦ をHIGH側
			垂直	VD ⑤		

接続例 1 本製品単体で使用する場合や他のモニターと直列に接続して本製品が終端となる場合

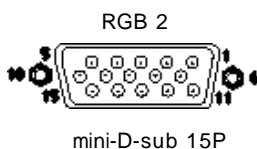


接続例 2 他のディスプレイモニターへ分配出力する場合（T型接栓等を用いる場合）



他のディスプレイモニターと接続する場合は、接続する機器に添付の取扱説明書をよくお読みください。

RGB 2 入力コネクタ⑧



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	赤信号0.7Vp-p、75 /HIGH	9	-
2	緑信号0.7Vp-p、75 /HIGH	10	GND-(水平 / 複合同期信号)
3	青信号0.7Vp-p、75 /HIGH	11	GND-(垂直同期信号)
4	GND	12	-
5	GND	13	水平 / 複合同期信号TTL
6	GND - (赤)	14	垂直同期信号TTL
7	GND - (緑)	15	-
8	GND - (青)		



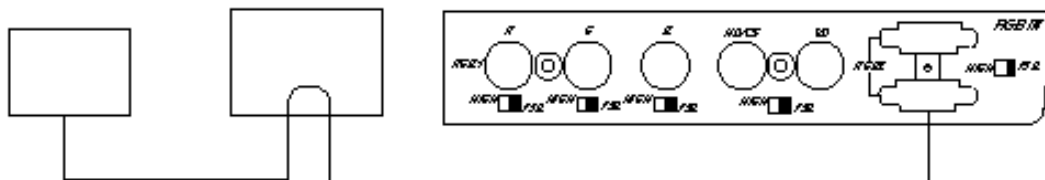
コネクタ⑧は、2個備えていますが、内部で並列接続しているため、上下どちらでも接続できます。
複合同期信号は接続できません。



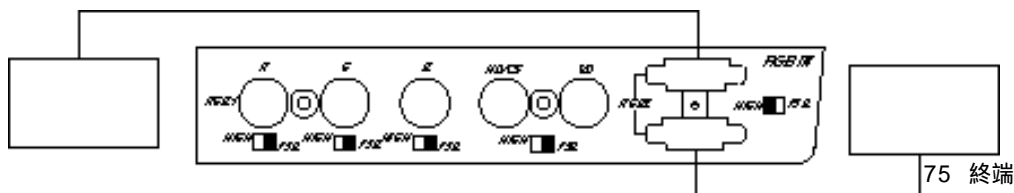
信号ケーブルを接続後は必ずコネクタの固定ネジで固定してください。

信号		接続コネクタ	入力インピーダンス切換スイッチ⑨設定	
			接続例 1	接続例 2
映像信号	赤色信号	⑧	⑨を75 側	⑨をHIGH側
	緑色信号			
	青色信号			

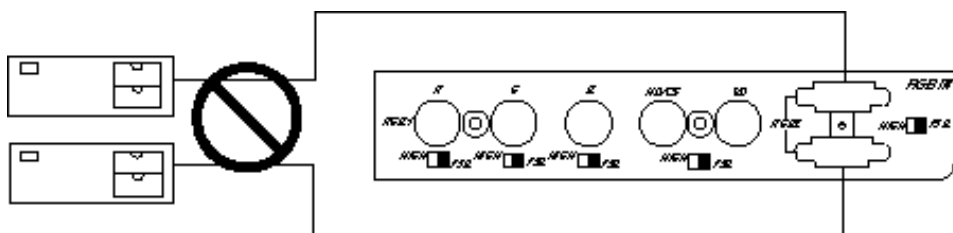
接続例 1 本製品単体で使用する場合や他のモニターと直列に接続して本製品が終端となる場合



接続例 2 他のディスプレイモニターへ分配出力する場合



- ・他のディスプレイモニターと接続する場合は、接続する機器に添付の取扱説明書をよくお読みください。
- ・コネクタ⑧は、2個備えていて上下どちらでも接続できますが、2種類のコンピューター等を同時に接続しないでください。正しく動作しなくなるだけでなく、コンピューター等の故障の原因となることがあります。



(2) 音声信号の接続

コンピューター等の音声信号を接続する場合は、音声信号入力コネクタ(AUDIO INの"RGB")に接続します。

4. オーディオ機器の接続方法

本製品は音声信号入出力回路を持っており、選択した映像信号系統(RGB,VIDEO1または2)に対応した音声信号系統を自動的に選択して、内部スピーカー及びラインアウト出力端子より出力します。以下に音声信号の接続方法を示します。

(1) 内部スピーカーを使用する場合

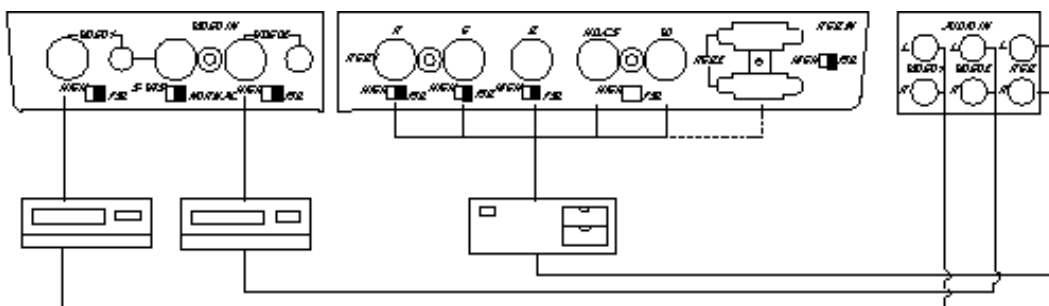
本製品はスピーカーを内蔵しています。内部スピーカーを使用する場合は次のように接続します。

補足

ビデオ機器などの音声信号がモノラルの場合、R側に入力すると左右両スピーカーから出力します。L側に入力すると左側スピーカーからのみ出力します。

重要

ビデオ機器などと接続する場合は、その機器に添付の取扱説明書等をよくお読みください。

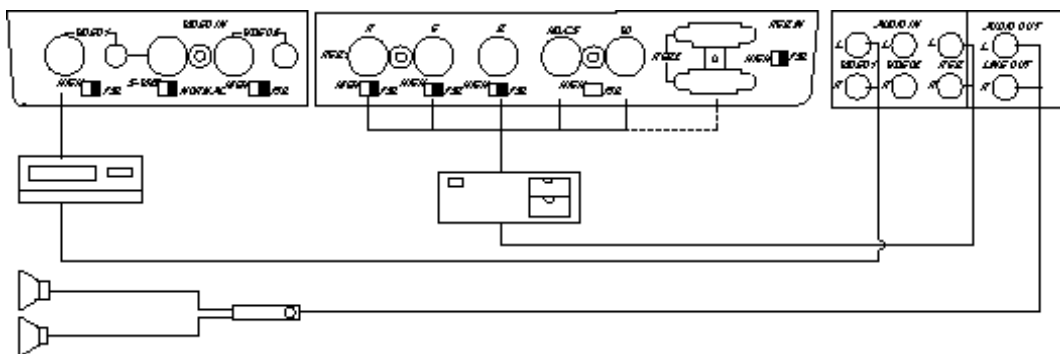


(2) 外部オーディオ機器を使用する場合

外部オーディオ機器を使用する場合は、次のように接続します。

重要

オーディオ機器等と接続する場合は、その機器に添付の取扱説明書等をよくお読みください。



補足

AUDIO OUTの出力レベルは、本製品では調節できません。音量は外部のAVアンプ等で調節してください。

5. 外部制御の接続方法

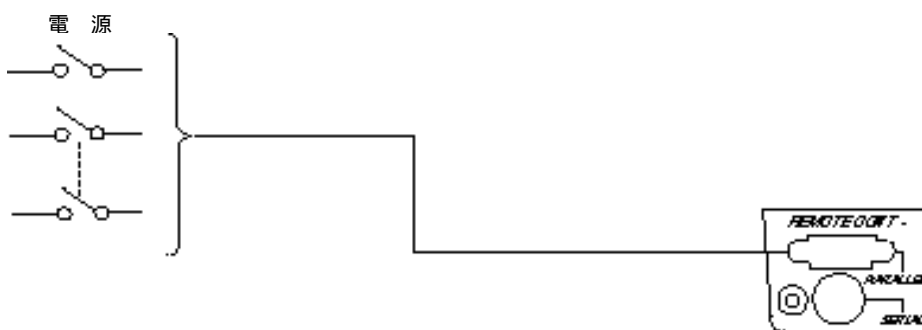
プラズマディスプレイをシステムへ組込む場合等、ワイヤレスリモコンや操作パネルを使用せず、外部より制御信号で入力信号選択、電源入/切等を行うことができます。

補足

外部制御は、プラズマディスプレイ本体の主電源が入の状態でないとは使用できません。

(1) パラレルインタフェース

パラレルインタフェースによる制御信号は次のように外部制御コネクタ(PARALLEL)へ接続します。



信号は、TTLまたは接点で行ない、信号レベルおよびピン配列は下表に適合するように接続してください。

信号レベル	Low	High
TTL	0 ~ 0.8V	2.5 ~ 5V
接点	接地(GND)	開放(OPEN)



ピン番号	信号	レベル
1	VIDEO1選択	Low
2	VIDEO2選択	Low
3	RGB1選択	Low
4	RGB2選択	Low
5		
6		
7	制御モード切換	High - 外部制御(パラレル)無効 Low - 外部制御(パラレル)有効
8	電源入/切	Low - 電源入
9	GND	

補足

パラレルインタフェースによる外部制御を行う場合、ワイヤレスリモコン、操作パネルおよびシリアルインタフェースによる電源入/切と入力信号選択はできません。

重要

信号ケーブルを接続後は必ずコネクタの固定ネジで固定してください。

(2) シリアルインタフェース

シリアルインタフェース(RS-232)による外部制御では、パソコンなどのRS-232コネクタとケーブル接続し、コマンドコードを送信することで、ワイヤレスリモコンと同様に入力信号選択、電源入/切および各種調整を行うことができます。

調整手順に関しては「3. 画面の調節」(Page 34)を参照ください。

シリアルインタフェースによる制御信号は次のように外部制御コネクタ(SERIAL)へ接続します。



補足

パラレルインタフェースによる外部制御を行う場合は、本機能のうち電源入/切と入力信号選択は使用できません。

ピン配列・RS-232通信形式・通信手順等を以下に示します。

< ピン配列 >



ピン番号	信号
1	DTR (Data Terminal Ready)
2	N.C.
3	TXD (Transmit Data)
4	GND (Ground)
5	RXD (Receive Data)
6	GND (Ground)
7	N.C.
8	N.C.

< RS-232通信形式 >

項目	仕様
方式	非同期式
ボーレート	9600bps
キャラクタ長	8bit
パリティ	非使用
ストップビット	2bit

< 通信手順 >

1 コマンドに対し開始コードFO_Hとキーコードの2バイトを送信してください。プラズマディスプレイは受信した1バイトコードに対し、正常の場合は同じコードを返答として送信し、異常の場合はエラーコード (FF_H) を送信します。エラーコードが送信された場合は開始コードから再度送信し直してください。

返答形式

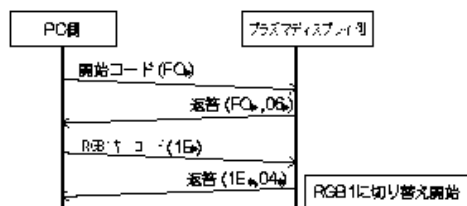
正常の場合、受信したコードにステータスコードをつけて返す。
異常の場合、エラーコード (FF_H) を返す。

コード表

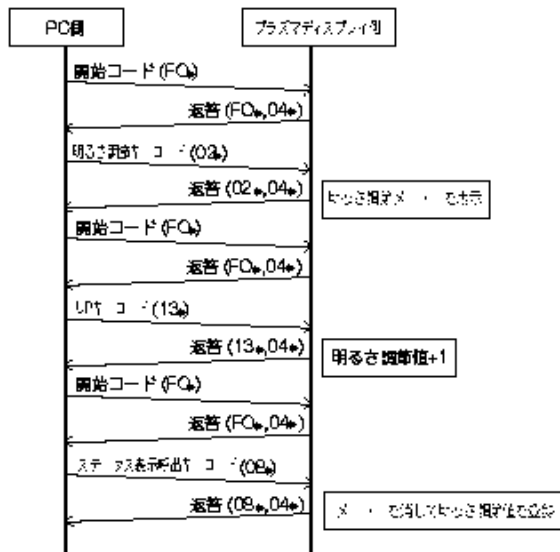
キーコード		ステータスコード			
キー名	コード	キー名	コード	ステータス	コード
電源入/切	44 _H	1	46 _H	電源	入力信号
VIDEO1	16 _H	2	47 _H	切	RGB1
VIDEO2	18 _H	3	50 _H	切	RGB2
RGB1	1E _H	4	54 _H	切	VIDEO1
RGB2	0E _H	5	55 _H	切	VIDEO2
音量調節(VOL)	01 _H	6	56 _H	入	RGB1
明るさ調節(BRT)	02 _H	7	53 _H	入	RGB2
音量バランス調節(BAL)	04 _H	8	52 _H	入	VIDEO1
コントラスト調節(CONT)	05 _H	9	11 _H	入	VIDEO2
消音(MUTE)	07 _H	0	10 _H		
ステータス表示呼出(CALL/CLR)	08 _H	ENTER	17 _H	その他のコード	
入力信号周波数表示(HELP)	00 _H	UP	13 _H	種類	コード
調節項目選択(MENU)	45 _H	DOWN	4C _H	開始	FO _H
				エラー	FF _H

< 通信例 >

(1) 入力信号をVIDEO1からRGB1に切り替える場合



(2) 明るさ調節値を + 1 する場合



6. 接続機器選定ガイド

(参考) パソコン選定のガイド

接続するパソコンは下記の仕様をご参考ください。

項目	条件
アーキテクチャー	DOS/V
OS	Windows95
CPU	MMX Pentium 200MHz以上を推奨
メインメモリ	48MB以上を推奨
色数	16ビットカラーモード以上が可能なこと
CD-ROMドライブ	MBソフトウェア導入用
シリアルポート	COM1ないしCOM2(タッチパネル制御用)
形状	縦置き設置(ミニタワー型を推奨)
収納スペース	幅:50cm 奥行き:34cm 高さ:51cm

(参考) プリンタ選定のガイド

接続するプリンタは下記の仕様をご参考にしてください。

項目	条件
仕様	Windows95用
推奨プリンタ	インクジェット方式小型プリンタ
収納スペース	幅:50cm(前面部) 奥行き:27cm 高さ:13cm(前面部)

(参考) ビデオ・DVD選定のガイド

下記のスペースに収まる機器を選定してください。

項目	条件
収納スペース	幅:50cm 奥行き:27cm 高さ:17cm

プラズマディスプレイの画面調整

1. VIDEO信号の画面調整

本製品にはVIDEO1およびVIDEO2の信号に対する調整値情報を記憶させるためのプリセット機能を備えています。レーザーディスクプレーヤーなどのビデオ機器を接続すると自動的に最適な画面を表示します。

本製品はNTSC信号に対する調整値情報を工場設定しています。

ユーザーにて画面調整値の変更および登録ができますが、"RECALL"を選択することにより元の工場設定値に戻すことができます。

2. RGB信号の画面調整

本製品にはRGB1およびRGB2の信号に対する調整値情報を記憶させるためのプリセット機能を備えていますので、コンピューターを接続すると自動的に適切な画面を表示します。

電源を入れたときおよび信号切り替え時、現在入力されているモードと番号"PRESET 1~4"または"USER1~6"と表示します。

(1) プリセットモード (PRESET1~4)

本製品はあらかじめ工場設定にてプリセットモード一覧表に示す4種類の信号に対する調整値情報を記憶しています。これらの信号を入力したときは、画面にその信号に相当なモード番号"PRESET1~4"を表示します。

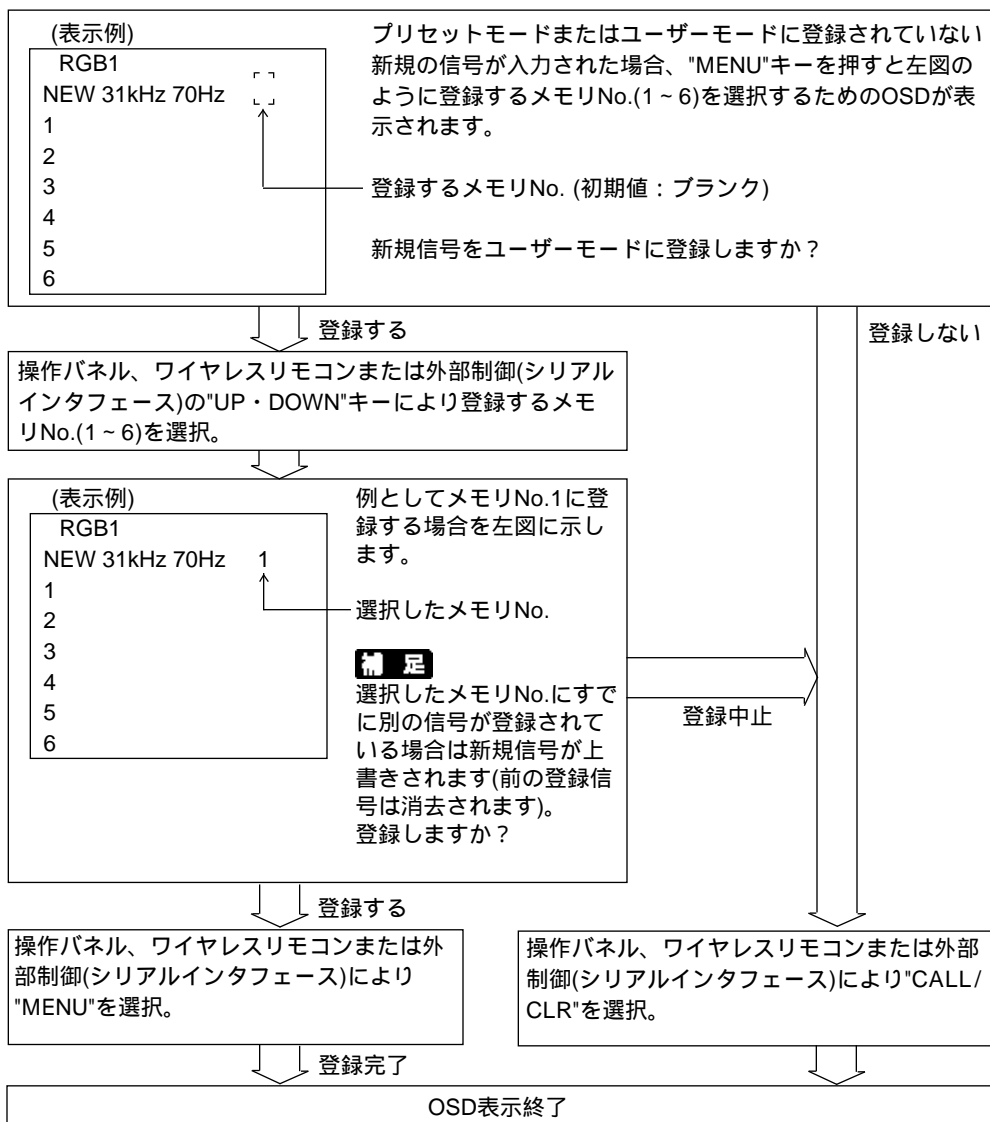
ユーザーにて画面調整値の変更および登録ができますが、"RECALL"を選択することにより元の工場設定値に戻すことができます。

RGB入力 プリセットモード一覧表

	プリセット モード	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)	同期信号極性	
				水平	垂直
1	VGA480	31.47	60.0	負	負
2	Apple 13"モード	35.00	66.7	負	負
3	VGA 72Hz	37.85	72.0	負	負
4	VGA 75Hz	37.50	75.0	負	負

(2) ユーザーモード (USER1~6)

本製品は工場設定された信号以外に6種類の信号を登録できる機能があります。この信号を入力したとき、"USER1~6"と表示します。プリセットモードまたはユーザーモードに登録されていない新規の信号が入力された場合、調整値情報を"USER1~6"のいずれに登録するかを選択するためのメニューが表示されます。登録または非登録の手順については以下を参照ください。



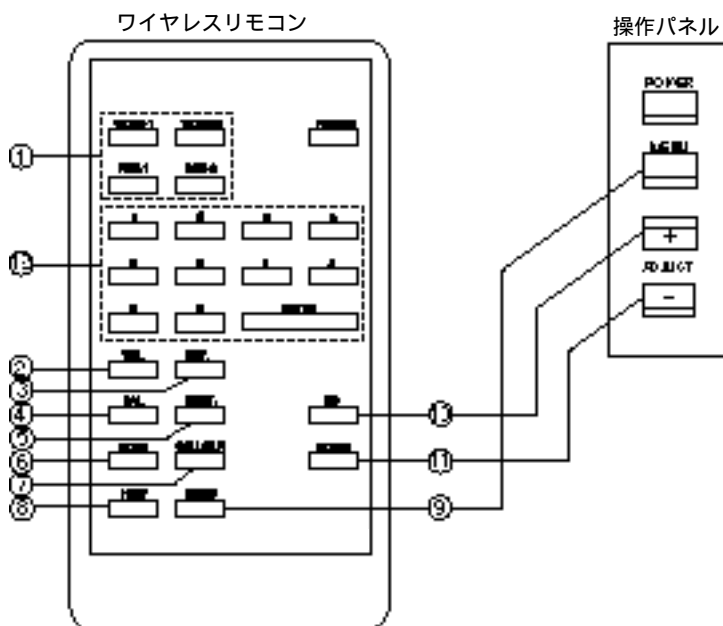
なお、新規の信号と判断するための条件は、次のいずれかがあてはまる場合です。

- ・ 水平走査周波数がプリセットモードまたはユーザーモードに登録されている信号と0.5kHz以上異なる場合
- ・ 垂直走査周波数がプリセットモードまたはユーザーモードに登録されている信号と1Hz以上異なる場合
- ・ 同期信号極性がプリセットモードまたはユーザーモードに登録されている信号と異なる場合ユーザーにて画面調節値の変更および登録ができますが、ユーザーモードにおいては"RE-CALL"は機能しません。

3. 画面の調節

本製品にはOSD(On Screen Display)機能がついています。次の操作を行うことにより画面の調節ができます。

- 1) 本製品の電源を入れてください。
- 2) 操作パネルまたはワイヤレスリモコンで調節したい項目のボタンを押すとOSD画面を表示します。



MENUボタン⑨は複数の調節項目を選択できます。

操作パネルでのMENUボタン⑨操作時はボタンを押す毎に次の調節項目へ移ります。

ワイヤレスリモコンでのMENUボタン⑨操作時は、調節項目がグループ毎に順次OSD表示されます。表示されているグループの中から調節したい調節項目の番号をテンキー⑫により入力し、ENTERボタン⑫を押して選択してください。

調節項目は入力信号によって変わりますので、次項調節項目一覧表を参照してください。

- 3) 調節する項目を選択したら、次にUP・DOWNボタン⑩⑪を押して、選択した項目のレベルを調節します。
- 4) 調節が終わり約10秒するとOSD画面は自動的に消え、信号入力画面を表示します。その際、調整値は自動的に記憶されます。他に、以下の方法によっても調整値を記憶させることができます。
 - ・ 次の調節項目に移って、UP・DOWNボタン⑩⑪でレベルを変更した場合
 - ・ CALL/CLRボタン⑦を押して、OSD画面を消した場合
 - ・ 入力信号選択(RGB1, RGB2, VIDEO1, VIDEO2)を行った場合
 - ・ 電源を切った場合(この場合の電源は操作パネル、ワイヤレスリモコン、外部制御により入/切する電源で、主電源ではありません)

4. 調節項目一覧表(*1)

入力信号 調節項目	VIDEO 1	VIDEO 2	RGB1	RGB2
(1) 入力信号選択(SOURCE)				
(2) 明るさ調節(BRIGHTNESS)				
(3) コントラスト調節(CONTRAST)				
(4) 音量調節(VOLUME)				
(5) 音量バランス調節(BALANCE)				
(6) 消音(MUTE)				
(7) ステータス表示呼出(CALL/CLEAR)				
(8) 入力信号周波数表示(HELP)				
(9) ビデオ入力カラー調節(COLOR)				×
(10) ビデオ入力ティント調節(TINT)				×
(11) ビデオ入力シャープネス調節(SHARPNESS)				×
(12) 周波数調節(CLK FREQ)		×		
(13) 位相調節1(CLK PHASE1)		×		
(14) 位相調節2(CLK PHASE2)		×		
(15) 画面水平位置調節(H-POSITION)				
(16) 画面上下幅調節(V-HEIGHT)		×		
(17) 画面垂直位置調節(V-POSITION)				
(18) ラインフィルター調節(LINE FILTER)		×		
(19) パワーセーブ設定(POWER SAVE)				
(20) ステータス表示設定(S. DISP)				
(21) リモコン番地設定(ADDRESS)				
(22) 工場設定値に戻す(RECALL)				
(23) 色温度選択(WHITE)				
(24) 色温度・赤調節(R. GAIN)				
(25) 色温度・緑調節(G. GAIN)				
(26) 色温度・青調節(B. GAIN)				

(*1)調節方法は、OSD画面による調節方法を参照してください。

..... 1つの に対し、1種類の設定値を記憶します。

..... 入力信号モード別に設定値を記憶できます。


1つの に対し、次の数の設定値が記憶できます。




- ・RGB1またはRGB2の場合：PRESET1～4、USER1～6の各モードに対応する10種類の設定値











..... 表示または調節ができますが、設定値を記憶しません。





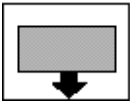
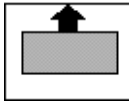
× 表示しません。

5. OSD画面による調節方法





機能およびOSD画面 (注) 本体操作スイッチ使用時	
<p>(1) 入力信号選択(SOURCE)</p> <p>現在表示中の入力信号 現在表示中の入力信号モード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>RGB1 PRESET 1 SOURCE RGB 1</p> </div> <p style="text-align: center;">↑ 選択入力信号名</p>	<p>操作パネルのとき MENUボタン⑨を押して"SOURCE"を選択します。+ボタン、または-ボタンを押すと次のように選択入力信号名が変わります。選択入力信号名を表示したい入力信号名に変えた後、MENUボタンをもう一度押すと、表示中の入力信号から選択した入力信号に切り換わります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>VIDEO1 VIDEO2 RGB1 RGB2</p> </div> <p>ワイヤレスリモコンのとき 表示したい入力信号のボタン①を押して選択します。</p> <p>設定 音声信号も選択された入力信号に対応して切り換わります。</p>
<p>(2) 明るさ調節(BRIGHTNESS)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>RGB1 PRESET 1 BRIGHTNESS 0</p> </div>	<p>操作パネルのとき MENUボタン⑨を押して"BRIGHTNESS"を選択します。</p> <p>ワイヤレスリモコンのとき BRT.ボタン③を押します。</p> <p>画面が暗くなります。 画面が明るくなります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; background-color: #333;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; background-color: #ccc;"></div> </div> <p style="text-align: center;">設定値の表示：MIN, -30, ~0~30, MAX</p>
<p>(3) コントラスト調節(CONTRAST)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>RGB1 PRESET 1 CONTRAST MAX</p> </div>	<p>操作パネルのとき MENUボタン⑨を押して"CONTRAST"を選択します。</p> <p>ワイヤレスリモコンのとき CONT.ボタン⑤を押します。</p> <p>画面の色あいが淡くなります。 画面の色あいが濃くなります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; background: linear-gradient(to right, #ccc, #333);"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; background: linear-gradient(to right, #333, #ccc);"></div> </div> <p style="text-align: center;">設定値の表示：MIN, 1, 2, ~, 61, 62, MAX</p>
<p>(4) 音量調節(VOLUME)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>RGB1 PRESET 1 VOLUME 32</p> </div>	<p>操作パネルのとき MENUボタン⑨を押して"VOLUME"を選択します。</p> <p>ワイヤレスリモコンのとき VOL.ボタン②を押します。</p> <p>内部スピーカーの音量が小さくなります。 内部スピーカーの音量が大きくなります。</p> <p style="text-align: center;">設定値の表示：MIN, 1, 2, ~, 61, 62, MAX</p>
<p>(5) 音量バランス調節(BALANCE)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>RGB1 PRESET 1 BALANCE 0</p> </div>	<p>操作パネルのとき MENUボタン⑨を押して"BALANCE"を選択します。</p> <p>ワイヤレスリモコンのとき BAL.ボタン④を押します。</p> <p>内部スピーカーの左の音量が大きくなります。 内部スピーカーの右の音量が大きくなります。</p> <p style="text-align: center;">設定値の表示：L31, L30, ~0~, R30, R31</p>

機能およびOSD画面	 or 	 or 
<p>(6) 消音(MUTE)</p> <div data-bbox="278 305 547 490" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> RGB1 PRESET 1 MUTE OFF </div>	<p>操作パネルのとき MENUボタン⑨を押して"MUTE"を選択します。</p> <p>内部スピーカーの音を消します。 内部スピーカーが元の音量に戻ります。</p> <p>ワイヤレスリモコンのとき MUTEボタン⑥を押すと音を消します。 もう一度押すと元の音量に戻ります。</p>	
<p>(7) ステータス表示呼び出し (CALL/CLR)</p> <div data-bbox="278 571 547 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> RGB1 PRESET 1 </div>	<p>ワイヤレスリモコンのとき メニューを表示していないとき、CALL/CLRボタン⑦を押すとメニュー1行目(入力信号、モード、リモコンアドレスなど)が表示されます。 メニューを表示しているときCALL/CLRボタン⑦を押すとメニューが消えます。 操作パネルには本機能はありません。</p>	
<p>(8) 入力信号周波数表示(HELP)</p> <div data-bbox="278 813 547 998" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> RGB1 PRESET 1 fH 31kHz fV 60Hz </div>	<p>操作パネルのとき MENUボタン⑨を押して"HELP"を選択し、UP・DOWNボタン⑩⑪を押します。 ワイヤレスリモコンのとき HELPボタン⑧を押します。 現在入力されている信号の水平周波数と垂直周波数が表示されます。(小数点以下は省略表示)</p>	
<p>(9) ビデオ入力カラー調節(COLOR)</p> <div data-bbox="278 1054 547 1240" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> VIDEO1 COLOR 0 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"COLOR"を選択します。 画面の色が淡くなります。 画面の色が濃くなります。</p> <div data-bbox="703 1078 861 1199" style="border: 1px solid black; width: 115px; height: 63px; background-color: #cccccc; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1016 1078 1174 1199" style="border: 1px solid black; width: 115px; height: 63px; background-color: #333333; margin: 0 auto;"></div> <p>設定値の表示：MIN, -30, ~ 0 ~, 30, MAX (VIDEO1, VIDEO2選択時に調節できます)</p>	
<p>(10) ビデオ入力ティント調節(TINT)</p> <div data-bbox="278 1319 547 1505" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> VIDEO1 TINT 0 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"TINT"を選択します。 UP・DOWNボタン⑩⑪を押してお好みの色合いに調節してください。</p> <p>緑が弱くなります。 緑が強くなります。</p> <p>設定値の表示：MIN, -30, ~ 0 ~, 30, MAX (VIDEO1、VIDEO2選択時に調節できます)</p>	
<p>(11) ビデオ入力シャープネス調節 (SHARPNESS)</p> <div data-bbox="278 1570 547 1756" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> VIDEO1 SHARPNESS 0 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"SHARPNESS"を選択します。</p> <p>画面がやわらかくなります。 画面がくっきりなります。</p> <p>設定値の表示：MIN, -30, ~ 0 ~, 30, MAX (VIDEO1、VIDEO2選択時に調節できます)</p>	

機能およびOSD画面	 or 	 or 
<p>(12) 周波数調節 (CLK FREQ)</p> <div data-bbox="271 320 543 513" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> RGB1 PRESET 1 CLK FREQ 33 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"CLK FREQ"を選択します。 画面幅が小さくなります。 画面幅が大きくなります。</p> <div data-bbox="718 330 842 426" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 20px;">  </div> <div data-bbox="1016 330 1140 426" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;">  </div> <p>設定値の表示：MIN, 1, 2, ~ 253, 254 MAX (入力信号によってMAX値が上記より小さい場合があります) (RGB1, RGB2選択時に調節できます)</p> <p>補足 画面幅をパネル表示エリアに合わせます(入力信号が640x480画素のとき)。</p>	
<p>(13) 位相調節1(CLK PHASE1)</p> <div data-bbox="271 664 543 857" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> RGB1 PRESET 1 CLK PHASE1 MIN </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"CLK PHASE1"を選択します。 UP・DOWNボタン⑩⑪を押すと、画面のちらつき量が変わりますので、ちらつきの少ないところに設定してください。</p> <p>設定値の表示：MIN, 1, ~ 30, MAX (RGB1、RGB2選択時に調節できます)</p> <p>補足 設定値が広い範囲で安定している場合は、そのセンター値を設定してください。</p>	
<p>(14) 位相調節2(CLK PHASE2)</p> <div data-bbox="271 954 543 1147" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> RGB1 PRESET 1 CLK PHASE2 MIN </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"CLK PHASE2"を選択します。 UP・DOWNボタン⑩⑪を押すと、画面のちらつき量が変わりますので、ちらつきの少ないところに設定してください。 本調節項目は、(13)位相調節1で調節した後にさらに微調節をおこなう場合に用います。</p> <p>設定値の表示：MIN, 1, ~ 6, MAX (RGB1、RGB2選択時に調節できます)</p> <p>補足 設定値が広い範囲で安定している場合は、そのセンター値を設定してください。</p>	
<p>(15) 画面水平位置調節(H. POSITION)</p> <div data-bbox="271 1302 543 1495" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> RGB1 PRESET 1 H.POSITION -14 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"H.POSITION"を選択します。 画面が左に移動します。 画面が右に移動します。</p> <div data-bbox="710 1344 842 1441" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 20px;">  </div> <div data-bbox="1016 1344 1148 1441" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;">  </div> <p>設定値の表示：MIN, -62, -61, ~ 0~, 61, 62, MAX</p>	
<p>(16) 画面上下幅調節(V. HEIGHT)</p> <div data-bbox="271 1566 543 1760" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> RGB1 PRESET 1 V.HEIGHT MAX </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"V.HEIGHT"を選択します。 画面高さが小さくなります。 画面高さが大きくなります。</p> <div data-bbox="710 1595 842 1692" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 20px;">  </div> <div data-bbox="1016 1595 1148 1692" style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;">  </div> <p>設定値の表示：MIN, 1, 2, ~ 61, 62, MAX (RGB1、RGB2選択時に調節できます)</p>	

機能およびOSD画面	 or 	 or 
<p>(17) 画面垂直位置調節(V.POSITION)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 V.POSITION -4 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"V.POSITION"を選択します。</p> <p>画面が下に移動します。 画面が上に移動します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>設定値の表示：MIN, -30, ~ 0 ~, 30, MAX</p>	
<p>(18) ラインフィルタ調節(LINE FILTER)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 LINE FILTER OFF </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"LINE FILTER"を選択します。</p> <p>画質がくっきりなります。 画質がやわらかくなります。</p> <p style="text-align: center;">設定値の表示：ON, OFF (RGB1、RGB2選択時に調節できます)</p>	
<p>(19) パワーセーブ設定(POWER SAVE)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 POWER SAVE OFF </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"POWER SAVE"を選択します。</p> <p>パワーセーブを 実行しません。 パワーセーブを 実行します。</p> <p style="text-align: center;">設定値の表示：ON, OFF</p>	
<p>(20) ステータス表示設定(S.DISP)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 S. DISP ON </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"S.DISP"を選択します。</p> <p>入力信号切り替え時、 メニュー1行目(入力信 号、モード、リモコン アドレス)を表示しま せん。 入力信号切り替え時、 メニュー1行目(入力 信号、モード、リモコ ンアドレス)を表示し ます。</p> <p style="text-align: center;">設定値の表示：ON, OFF</p>	
<p>(21) リモコン番地設定(ADDRESS)</p> <p>本製品を複数台使用し、各々単独でリモコン操作する場合、各々リモコンの操作番地を設定してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 05 RGB 1 PRESET 1 ADDRESS 5 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"ADDRESS"を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番地を設定する場合 操作パネル、または、ワイヤレスリモコンのUP・DOWNボタン⑩⑪を押し1~99(2ケタ)の番地を設定します。 ・番地設定後、単独操作する場合 ワイヤレスリモコンで次のように操作します。 操作例：番地が"05"の場合 <ol style="list-style-type: none"> 1. テンキー⑫により"05"を入力 2. ENTER⑬ボタンを押す 3. 画面に"05"および、ステータス表示がされ、単独操作可能となります。 ・番地設定を解除する場合 指定のディスプレイを呼び出し、DOWNボタン⑪で"00"番地を設定することにより解除します。 	

次ページに続く

機能およびOSD画面	 or 	 or 																				
	<ul style="list-style-type: none"> 番地表示中でないと、画面調節等の操作ができません。 工場出荷時、番地を"0"に設定しています。 設定した番地は、(7)ステータス表示呼び出しによって確認できます。 																					
<p>(22) 工場設定値へ初期化 (RECALL)</p> <div data-bbox="275 446 546 639" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 RECALL </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"RECALL"を選択します。 UP・DOWNボタン⑩⑪のいずれかを押すと選択中の入力信号モード(左の例ではPRESET1)に関し下表の印の項目の調節値が工場設定値に戻ります。</p> <table border="1" data-bbox="680 546 1136 668" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>VIDEO</th> <th>RGB PRESET</th> <th>RGB USER</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H-POSITION</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">RECALL 無効</td> </tr> <tr> <td>V-POSITION</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>V-HEIGHT</td> <td style="text-align: center;">調節不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CLK PHASE1</td> <td style="text-align: center;">調節不可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>CLK PHASE2</td> <td style="text-align: center;">調節不可</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			VIDEO	RGB PRESET	RGB USER	H-POSITION			RECALL 無効	V-POSITION			V-HEIGHT	調節不可		CLK PHASE1	調節不可		CLK PHASE2	調節不可	
	VIDEO	RGB PRESET	RGB USER																			
H-POSITION			RECALL 無効																			
V-POSITION																						
V-HEIGHT	調節不可																					
CLK PHASE1	調節不可																					
CLK PHASE2	調節不可																					
<p>(23) 色温度選択 (WHITE)</p> <div data-bbox="275 722 546 915" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 WHITE NORMAL </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"WHITE"を選択します。 UP・DOWNボタン⑩⑪で色温度モードを選択します。</p> <p>設定値の表示：NORMAL USER</p> <ul style="list-style-type: none"> NORMAL: 工場設定値 USER: お好みの色温度に設定してください。設定の方法は、(24)以降を参照ください。 																					
<p>(24) 色温度・赤調節 (R.GAIN)</p> <div data-bbox="275 979 546 1172" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 R. GAIN 0 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"R.GAIN"を選択します。</p> <p style="text-align: center;">赤色が薄くなります。 赤色が濃くなります。</p> <p>設定値の表示：MIN, -30, ~ 0~, 30, MAX (本設定機能は色温度選択(WHITE)でUSER選択時に調節できます)</p>																					
<p>(25) 色温度・緑調節 (G.GAIN)</p> <div data-bbox="275 1251 546 1445" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 G. GAIN 0 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"G.GAIN"を選択します。</p> <p style="text-align: center;">緑色が薄くなります。 緑色が濃くなります。</p> <p>設定値の表示：MIN, -30, ~ 0~, 30, MAX (本設定機能は色温度選択(WHITE)でUSER選択時に調節できます)</p>																					
<p>(26) 色温度・青調節 (B.GAIN)</p> <div data-bbox="275 1522 546 1715" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> RGB1 PRESET 1 B. GAIN 0 </div>	<p>MENUボタン⑨を押して"B.GAIN"を選択します。</p> <p style="text-align: center;">青色が薄くなります。 青色が濃くなります。</p> <p>設定値の表示：MIN, -30, ~ 0~, 30, MAX (本設定機能は色温度選択(WHITE)でUSER選択時に調節できます)</p>																					

パワーセーブ機能

パワーセーブ機能とは

プラズマディスプレイの電源を入れたままでも、映像信号が入力されないときにプラズマディスプレイの消費電力を減少させる機能です。プラズマディスプレイ本体の画面が暗くなるとともに電源ランプが点滅します。

以下この状態をパワーセーブ状態と称します。

補足

パラレルインタフェースによる外部制御を有効にしている場合はパワーセーブ機能は動作しません。

パワーセーブ機能のON/OFF

OSD画面による調節方法の中の"パワーセーブ設定(POWER SAVE)"および下記"パワーセーブ状態のときの制御機能"をごらんください。

補足

工場出荷時はパワーセーブ機能はOFFにしています。

パワーセーブ状態に入るときの入力信号、画面および電源ランプの状態

選択した入力信号	入力信号の状態	画面および電源ランプの状態
RGB1 または RGB2	水平同期信号がOFF状態のとき	①"NO SYNC H"のOSDを20秒間表示。 ②その後"POWER SAVE"のOSD点滅。 ③さらにその後、画面が暗くなり、電源ランプが全灯高速(1秒周期)点滅し、パワーセーブ状態となります。
	垂直同期信号(または垂直および水平の両方の同期信号)がOFF状態のとき	①"NO SYNC V"(または"NO SYNC HV")のOSDを20秒間表示。 ②その後"POWER SAVE"のOSD点滅。 ③さらにその後、画面が暗くなり、ファンが停止。電源ランプが半灯低速(4秒周期)点滅し、パワーセーブ状態となります。
VIDEO1 または VIDEO2	入力信号がOFF状態のとき	①"NO SYNC"のOSDを20秒間表示。 ②その後"POWER SAVE"のOSD点滅。 ③さらにその後、画面が暗くなり、電源ランプが全灯低速(4秒周期)点滅し、パワーセーブ状態となります。

- ①VIDEO1またはVIDEO2を選択中にパワーセーブ状態に入った場合は、選択されている入力信号が復帰した時点で、パワーセーブ状態から復帰します。
- ②RGB1またはRGB2を選択中にパワーセーブ状態に入った場合は、選択されている入力信号の"垂直"または"水平"または"垂直および水平の両方"が復帰した時点で、パワーセーブ状態から復帰します。

パワーセーブ状態のときの制御機能

パワーセーブ状態においては下表の 印の機能が使用可能で、その際パワーセーブ状態から復帰します。

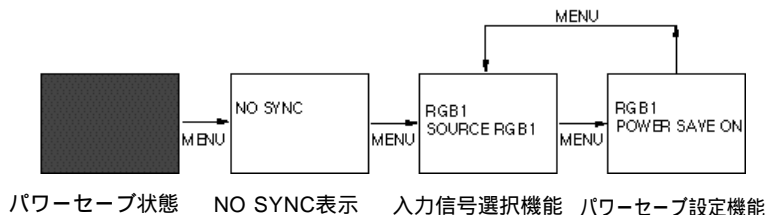
	操作パネル	ワイヤレス リモコン	シリアルインターフェース 外部制御
電源SW			
入力信号選択	(☑️下記 補足 を参照ください)		
パワーセーブ設定	(☑️下記 補足 を参照ください)	-	-

☑️ : 機能します

- : 機能しません

補足

操作パネルの調節項目選択 (MENU) ボタンを押すと次のようにOSDが切り換わり、"入力信号選択"および"パワーセーブ設定"の2種類の機能が使用可能です。



OUT OF RANGE

OUT OF RANGE とは

OUT OF RANGEのOSDは、選択中の入力信号中の周波数が本製品の入力周波数範囲に合わない場合に表示されます。本製品の仕様にあった信号を入力してください。

補足

入力周波数範囲 水平：15.5～50kHz、垂直：50～75Hz

OUT OF RANGE からの復帰

選択中の入力信号の周波数を、出力機器側で本製品の入力周波数範囲内（上記）内に再設定していただくと復帰します。

OUT OF RANGE のときの制御機能

OUT OF RANGEのときは下表の 印の機能が使用可能です。

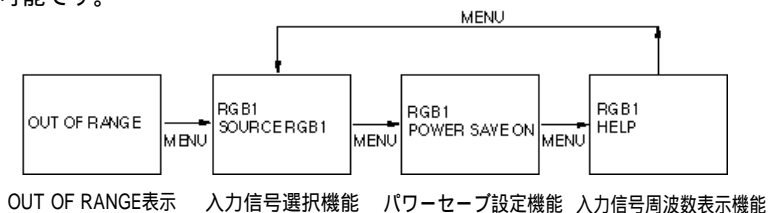
	操作パネル	ワイヤレスリモコン	シリアルインタフェース外部制御
電源SW			
入力信号選択	☑ 補足 下記を参照ください)		
入力信号周波数表示	☑ 補足 下記を参照ください)		
パワーセーブ設定	☑ 補足 下記を参照ください)	-	-
ステータス表示呼出	-		

: 機能します

- : 機能しません

補足

操作パネルの調節項目選択 (MENU) ボタンを押すと次のようにOSDが切り換わり、"入力信号選択"、"パワーセーブ設定"および"入力周波数表示(HELP)"の3種類の機能が使用可能です。



あ

OUT OF RANGEからの復帰	42
OUT OF RANGEとは	42
OUT OF RANGEのときの制御機能	42
RGB信号の画面調整	32
映像信号および同期信号の接続.....	24
映像入力コネクタ①～④および S-VHSコネクタ⑦	23
MB1の接続方法(図1参照)	10
MB1主電源の接続方法(図2参照).....	11
主要な調整項目	13
音声信号の接続	23
音声信号の接続	26
OSD画面による調節方法	36
オーディオ機器の接続方法	27

か

開梱・設置・組立て.....	8
外装のお手入れ	17
外部オーディオ機器を使用する場合.....	27
外部制御の接続方法.....	28
画面および電源ランプの状態	41
画面の調節	34
画面の焼き付きについて.....	14
ケーブルの配線方法(図2参照)	11
コード表.....	30
コンピューターの接続方法	24

さ

シリアルインタフェース.....	29
据付場所・運搬	8
据付方法.....	8
接続機器選定ガイド.....	31
接続方法.....	10
操作パネル	6
その他デバイスの接続方法	11

た

タッチパネルのガラス	17
タッチパネルのガラスについて.....	14
調節項目一覧表(*1)	35
通信手順.....	30
通信例	30
電源タップの電源容量について.....	14

電源の切り方.....	12
電源の入れ方.....	12
電池の入れ方.....	9

な

内部スピーカーを使用する場合.....	27
内部の掃除	17
入力インピーダンス切換スイッチ⑤⑥	22
入力および出力信号の接続	21

は

パソコンの接続方法(図1参照)	10
パソコンの電源について.....	14
パラレルインタフェース.....	28
パワーセーブ機能とは	41

パワーセーブ機能のON/OFF.....	41
パワーセーブ状態に入るときの入力信号、 パワーセーブ状態のときの制御機能.....	41

VIDEO信号の画面調整	32
ビデオ機器の接続方法	22

プラズマディスプレイの画面表示位置調整....	13
プラズマディスプレイの角度調整	13
プラズマディスプレイの周波数調整について	13
プラズマディスプレイ底面	6
プリセットモード(PRESET1～4).....	32
プリンタの接続方法(図1参照)	11
プリンタの電源について.....	14
本体正面.....	5
本体裏面.....	5

ゆ

ユーザーモード(USER1～6).....	33
-----------------------	----

わ

ワイヤレスリモコン.....	7
----------------	---